**平成３０年度　学力向上推進計画**

川越町立川越中学校

校内学力向上推進委員会

**１．学力調査から見えてきた川越町としての課題**

　　❶短時間で文章から様子やあらすじをイメージし捉える力に課題

　　➋数学「割合」の理解に課題

　　➌適切な情報をグラフや図の中から探す力に課題

**２．学力調査から見えてきた本校の課題**

　国語

　　目的に応じて文章を読んで整理する、文章を読み取ることに課題がみられた。また、教員が当たり前と感じていることわざや言い回しが、生徒たちにとっては当たり前ではないということを、教員がしっかりと理解した上で、国語科だけにとどまらず、すべての教員が意識して指導していく必要性を感じる。

　数学

　　知識を中心とした問題への課題が一部みられたが、おおむね達成できている。やはり、活用・探究の問題に課題がみられる。B問題をみると、どれも日常起こりうるような問題が出題されている。必要性を感じることができなければ、「将来使わない」といった思考に流れてしまうため、実生活に結びついた身近な数学を授業で展開していく必要がある。

　理科

　　他の教科でも出題された、グラフからの読み取りに課題がある。実験などで自分でグラフを作成する機会などを多めに取り入れているが、効果がみられないため、別の視点で考えていく必要がある。また、理科的な知識・技能よりも、探究するための理科的な見方・考え方が不足していることがわかってきた。これは感覚的に身につくものではなく、様々な見方・考え方に出会うことで身についていくものであると感じる。教師からはもちろんのこと、生徒の中から引き出して広げていく授業を展開したい。

　全体

　　今回の学調の問題の傾向として、現行の学習指導要領をもとに作成しつつ、新学習指導要領で身に付けさせたい資質・能力を見据えたメッセージ性のある出題であった。実際に文科省の主任視学官も同様のことを述べていた。教員側の課題として、どうしても学調の活用を各教科で実施しきれていないことが挙げられる。学習指導要領改訂にいたった経緯などを噛み砕いて理解し、未来を切り拓く資質・能力を育成するためにどのような授業改善が必要となってくるのかを考えていくことができる教職員集団を形成していく必要がある。

**３．校内目標**

　　・全国学力・学習状況調査

平均正答率を全国平均以上，無回答率を段階的に５％以下に改善。

　　・CRTテスト

　　　　平均得点率を１００以上，評定出現率を８０％以上に改善。

**４．重点取り組み**

　＜昨年度から継続した取り組み＞

　①日々の授業改善　＜通年＞

　　　生徒が「わかった」・「できた」と思えるような授業づくりを心がけながら、教科・学年・経験年数を超えた研修チームを組み、教員同士がお互いの授業を見せ合い、日常的に授業改善を行う。なお、年１回は、川越町教育委員会または北勢教育支援事務所の指導主事の参観のもと、指導・助言を受け、その取り組みを振り返る。

②学習支援の強化　＜通年＞

　　　数学と英語を中心に、TTや少人数指導を継続するとともに、教員の空き時間を利用した校内の見守りの際に、生徒が「わかった」・「できた」と思える支援を行う。

　③放課後・長期休業日を利用した補充学習　＜テスト期間・長期休業中＞

　　　全学年を対象に、テスト期間に質問日を設定し、わからないところを気軽に聞ける機会を増やす。また、長期休業中には補充学習日を設定し、学習ボランティアを加配することで、より個に対応した支援を行う。

　④家庭学習の充実　＜通年＞

　　　各教科で毎日の家庭学習につながる授業づくり、宿題設定を継続して行う。また、生活習慣・読書習慣チェックシート等の集計結果を学年・学校たより等で家庭に周知して、生徒・学校・家庭のつながりを強化し、家庭学習に取り組む姿勢の改善を図る。

＜本年度からの新たな取り組み＞

　⑤学力向上通信の発行　＜通年＞

　　　学習することへの興味・関心を高めるために、不定期で学力向上通信を発行する。解いてみたいと思わせる問題や、知識を活用しないと解けない問題を掲載し、探究することの面白さを感じさせる。

⑥読売ワークシート通信の活用　＜１０月頃～＞　p.5,6参照

　　　週１回程度、朝読書の時間に、読売教育ネットワークから配信されている「読売ワークシート通信」を全校で配付し取り組ませる。複数の難易度のワークシートを用意し、自分で選択して読ませる。活字に触れる機会を増やし、短時間で読み取るトレーニングとして活用する。

※読売教育ネットワーク　http://kyoiku.yomiuri.co.jp/torikumi/worksheet/

　　⑦「割合」に関する掲示物の作成・ワークシートの活用　＜１１月頃～＞

　　　　「割合」の概念を捉えることに課題があるため、小学校で学習してきた割合の図や表、グラフなどを廊下等に掲示し、振り返らせる。また、県が作成したワークシートを、すきま時間や家庭学習で活用する。

　　⑧統計グラフの作成と掲示　＜１２月頃～＞

　　　　専門委員会等を利用して、行政の統計データや生徒アンケートから得られたデータをグラフ化して掲示する。日ごろよりグラフからどんなことが言えるのかを考える習慣をつけさせる。

　　⑨学調・みえスタで課題のみられた問題の再活用　＜９月～１０月頃＞

　　　　各学年で学調・みえスタの分析を行い、課題のみられた問題を数点ピックアップし、結果返却の際に再活用する。グループ等を活用し、全員ができるように仕向ける。

　　⑩学力向上ポートフォリオの作成　＜１０月頃～＞

　　　　読売ワークシート通信や県作成のワークシートなど、学力向上に活用したプリントなどをひとつのファイルに綴じて、学びの軌跡を残していく。

**５．全職員が同じベクトルで取り組むための方策**

　　・職員会議等で、校内学力向上推進委員会の内容を周知＜９月職員会議にて＞

　　・校内研修会等で、学習指導要領改訂の経緯と重点課題を共有＜１０月校内研修にて＞

**６．校内学力向上推進委員会の今後の計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 時間 | 内容 |
| ４月１３日（金） | １６：００～ | ・本年度の取り組み確認・４月１７日実施　学調・みえスタについて |
| 　４月２６日（木） | １６：１０～ | ・習熟度別学習取り組み　報告・学調採点研修会　報告・学調・みえスタ　自校採点について |
| 　５月２２日（火） | １３：００～ | ・生活習慣・読書習慣チェックシート分析報告 |
| 　７月　７日（月） | １６：００～ | ・学調自校採点結果　中間報告 |
| 　８月中旬 | 回覧にて | ・学調分析報告・今後の校内の取り組みの提案 |
| 　９月　４日（火） | １０：００～ | ・町学力向上推進委員会　報告・今後の校内の取り組みの再提案 |
| 　９月２９日（月） | 職員会議 | ・校内の取り組みを周知 |
| １０月２６日（金） | 校内研修会 | ・新学習指導要領について |
| １１月　第４週頃 | 未定 | ・取り組みの中間振り返り |
| １２月　第３週頃 | 未定 | ・本年度の取り組みの振り返り・来年度の取り組みについて提案 |
| 　１月　第３週頃 | 未定 | ・町学力向上推進委員会　資料提案・みえスタ・学調プレについて |
| ２月２５日（月） | 職員会議 | ・来年度の取り組みを周知 |
| ２月 | 未定 | ・予備 |



高学年用

中学年用



中学生用英語

中学生用